

防災意識を高め生命を守る行動

食と農業の未来

## 札幌管区気象台

### 自然を監視・予測し国民の生命や財産を災害から守るための情報提供

7月9日、総務経済常任委員会で行政視察を行いました。

はじめに、天気予報や集中豪雨・気候変動などの監視状況について札幌管区気象台（気象庁）を視察しました。

気象、地震・津波・火山等、防災に欠かせない情報を最新の気象衛星やスーパーコンピュータ、気象レーダー、アメダスなどにより的確に情報を把握し、予測精度を上げ、気象情報の改善をされています。

気象を24時間監視し情報発信している状況を職員から説明を受けました。



▲道内9火山の常時観測をする火山監視席

## 札幌市民防災センター

### 災害の模擬体験で防火・防災の知識や災害時の行動を学ぶ

次に、防災学習のために札幌市民防災センターを視察しました。

暴風・消火・火災避難・地震の模擬体験をすることで防災訓練の大切さを改めて実感しました。

本町でも研修会や訓練を実施し防災力を高める対策を進めるべきと考えます。



▲災害発生時、素早く行動するため模擬体験を

## クボタアグリフロント

### 食と農業の今と未来を考える

その後、北広島市にある農業学習施設のクボタアグリフロントを視察しました。

食と農業について模型や映像、農業経営シミュレーションゲームで学習し、最新の農業技術「アグリテック」を使用した屋内農場のガラスハウス（アスパラ、イチゴ、トマト）と植物工場を見学しました。

食と農業の課題に向き合い、未来を考える場として画期的な施設と考えます。



▲最先端のデジタルやAIを活用した農業技術を視察